

平成 17 年度 九州大学 2 次試験前期日程 (数学問題)120 分
文系 (文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部 (経済・経営))

1 a を正の実数とし, 点 $A\left(0, a + \frac{1}{2a}\right)$ と曲線 $C: y = ax^2 (x \geq 0)$ を考える。曲線 C 上の点で, 点 A との距離が最小となるものを P とする。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1) 点 P の座標と線分 AP の長さを求めよ。
- (2) 曲線 C と y 軸, および線分 AP で囲まれる図形の面積 $S(a)$ を求めよ。
- (3) $a > 0$ のとき, 面積 $S(a)$ の最小値を求めよ。また, そのときの a の値を求めよ。

2 t を実数とするととき, 2 次方程式

$$z^2 + tz + t = 0$$

について, 次の問いに答えよ。

- (1) この 2 次方程式が異なる 2 つの虚数解をもつような t の範囲と, そのときの虚数解をすべて求めよ。
- (2) (1) の虚数解のうち, その虚部が正のものを $z(t)$ で表す。 t が (1) で求めた範囲を動くとき, 複素数平面上で点 $z(t)$ が描く図形 C を求め, 図示せよ。
- (3) 複素数平面上で, 点 z が (2) の図形 C 上を動くとき,

$$w = \frac{iz}{z+1}$$

で表される点 w が動く図形を求め, 図示せよ。

3 実数 x に対して, $[x]$ は x を超えない最大の整数を表す。例えば, $[\frac{3}{2}] = 1$, $[2] = 2$ である。このとき, $0^\circ < \theta < 180^\circ$ として次の問いに答えよ。ただし, 必要なら $\sin \alpha = \frac{1}{2\sqrt{2}}$ となる角 α ($0^\circ < \alpha < 90^\circ$) を用いてよい。

- (1) 不等式 $\log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 1$ を満たす θ の範囲を求めよ。
- (2) 不等式 $\left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] \geq 1$ を満たす θ の範囲を求めよ。
- (3) 不等式 $\log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 0 \leq \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right]$ を満たす θ の範囲を求めよ。

4 1つのさいころを4回投げて、出た目の数を順に x_1, x_2, x_3, x_4 とする。このとき次の問いに答えよ。

- (1) $x_1 < x_2$ となる確率を求めよ。
- (2) $x_1 < x_2 < x_3$ となる確率を求めよ。
- (3) $x_1 < x_2$ かつ $x_2 \geq x_3$ となる確率を求めよ。
- (4) $x_k \geq x_{k+1}$ となる最小の自然数 k の期待値を求めよ。ただし、 $x_1 < x_2 < x_3 < x_4$ のときは $k = 4$ と定める。

解答例

1 (1) C 上の点を $X(t, at^2)$ とすると ($t \geq 0$)

$$\begin{aligned} AX^2 &= t^2 + \left\{ at^2 - \left(a + \frac{1}{2a} \right) \right\}^2 \\ &= a^2 t^4 - 2a^2 t^2 + \left(a + \frac{1}{2a} \right)^2 \\ &= a^2 (t^2 - 1)^2 + 1 + \frac{1}{4a^2} \end{aligned}$$

AX^2 は, $t^2 = 1$ すなわち $t = 1$ のとき, AX^2 は最小値 $1 + \frac{1}{4a^2}$ をとる.

よって $P(1, a)$, $AP = \sqrt{1 + \frac{1}{4a^2}}$

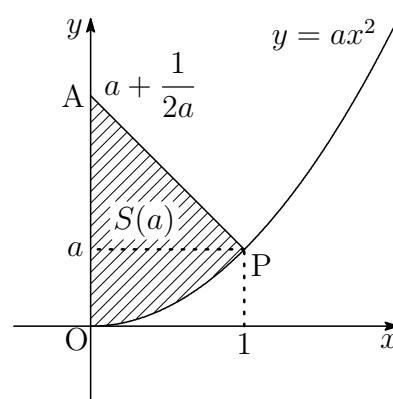
$$\begin{aligned} (2) S(a) &= \frac{1}{2} \left\{ a + \left(a + \frac{1}{2a} \right) \right\} \times 1 - \int_0^1 ax^2 dx \\ &= a + \frac{1}{4a} - \frac{a}{3} \\ &= \frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \end{aligned}$$

(3) $a > 0$ より, $\frac{2a}{3} > 0$, $\frac{1}{4a} > 0$ であるから,
相加平均および相乗平均の関係により

$$\frac{2a}{3} + \frac{1}{4a} \geq 2\sqrt{\frac{2a}{3} \cdot \frac{1}{4a}} = \frac{\sqrt{6}}{3}$$

等号が成り立つのは $\frac{2a}{3} = \frac{1}{4a}$ すなわち $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$ のときに限る.

よって, $S(a)$ は, $a = \frac{\sqrt{6}}{4}$ のとき, 最小値 $\frac{\sqrt{6}}{3}$ をとる.



- 2 (1) 2次方程式 $z^2 + tz + t = 0 \cdots \textcircled{1}$ が異なる2つの虚数解をもつとき, $D < 0$ であるから

$$t^2 - 4 \cdot 1 \cdot t < 0 \quad \text{これを解いて} \quad 0 < t < 4$$

このとき, 方程式 $\textcircled{1}$ の解は $z = \frac{-t \pm \sqrt{4t - t^2}i}{2}$

- (2) $z = z(t)$ とおくと, 解と係数の関係により $z + \bar{z} = -t$, $z\bar{z} = t$

上の2式から t を消去すると

$$z\bar{z} + z + \bar{z} = 0$$

$$(z + 1)(\bar{z} + 1) = 1$$

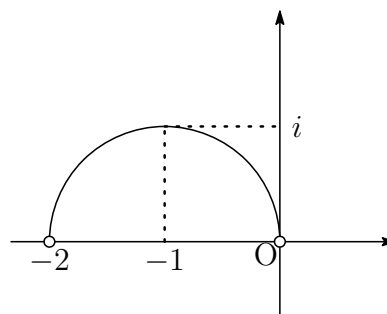
したがって $|z + 1|^2 = 1$

よって $|z + 1| = 1$

ゆえに, $z(t)$ は, -1 を中心とする半径1

の円周上で, 虚部が正である点である.

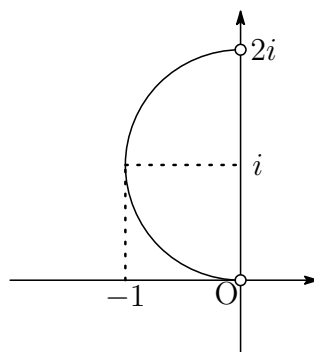
よって, $z(t)$ が描く図形 C は, 右の図のようになる.



- (3) (2) の結果から, $z = -1 + (\cos \theta + i \sin \theta)$ とおくと ($0^\circ < \theta < 180^\circ$)

$$\begin{aligned} w &= \frac{iz}{z+1} = \frac{i\{-1 + (\cos \theta + i \sin \theta)\}}{-1 + (\cos \theta + i \sin \theta) + 1} \\ &= \frac{-i + i(\cos \theta + i \sin \theta)}{\cos \theta + i \sin \theta} \\ &= -i\{\cos(-\theta) + i \sin(-\theta)\} + i \\ &= (\cos 270^\circ + i \sin 270^\circ)\{\cos(-\theta) + i \sin(-\theta)\} + i \\ &= i + \cos(270^\circ - \theta) + i \sin(270^\circ - \theta) \quad (90^\circ < 270^\circ - \theta < 270^\circ) \end{aligned}$$

よって, w が描く図形は, 下の図のようになる.



$$\boxed{3} \quad (1) \log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 1 \text{ より } \log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq \log_2 2$$

$$\text{したがって } \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 2$$

$$\text{ゆえに } \frac{5}{2} + \cos \theta < 3 \quad \text{すなわち } \cos \theta < \frac{1}{2}$$

$$0^\circ < \theta < 180^\circ \text{ より } \quad 60^\circ < \theta < 180^\circ$$

$$(2) \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] \geq 1 \text{ より}$$

$$\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \geq 1 \quad \text{ゆえに } \log_2 \sin \theta \geq \log_2 \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\text{したがって } \sin \theta \geq \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$0^\circ < \theta < 180^\circ \text{ より } \quad 45^\circ \leq \theta \leq 135^\circ$$

$$(3) \log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 0 \text{ であるから } \log_2 \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq \log_2 1$$

$$\text{したがって } \left[\frac{5}{2} + \cos \theta \right] \leq 1$$

$$\text{ゆえに } \frac{5}{2} + \cos \theta < 2 \quad \text{すなわち } \cos \theta < -\frac{1}{2}$$

$$0^\circ < \theta < 180^\circ \text{ より } \quad 120^\circ < \theta < 180^\circ \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\text{次に, } \left[\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \right] \geq 0 \text{ であるから}$$

$$\frac{3}{2} + \log_2 \sin \theta \geq 0 \quad \text{ゆえに } \log_2 \sin \theta \geq \log_2 \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$\text{したがって } \sin \theta \geq \frac{1}{2\sqrt{2}}$$

$$0^\circ < \theta < 180^\circ \text{ より } \quad \alpha \leq \theta \leq 180^\circ - \alpha \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ の共通範囲を求めて } \quad 120^\circ < \theta \leq 180^\circ - \alpha$$

4 さいころを4回投げるとき、目の出方の総数は 6^4 (通り)

(1) $x_1 < x_2$ の目の出方の総数は ${}_6C_2$ (通り)

x_3, x_4 の目の出方の総数は 6^2 (通り)

よって、求める確率は $P(x_1 < x_2) = \frac{{}_6C_2 \times 6^2}{6^4} = \frac{5}{12}$

(2) $x_1 < x_2 < x_3$ の目の出方の総数は ${}_6C_3$ (通り)

x_4 の目の出方の総数は 6 (通り)

よって、求める確率は $P(x_1 < x_2 < x_3) = \frac{{}_6C_3 \times 6}{6^4} = \frac{5}{54}$

(3) (1), (2) の結果から

$$\begin{aligned} P(x_1 < x_2 \geq x_3) &= P(x_1 < x_2) - P(x_1 < x_2 < x_3) \\ &= \frac{5}{12} - \frac{5}{54} = \frac{35}{108} \end{aligned}$$

(4) $P(k=1) = P(x_1 \geq x_2) = 1 - P(x_1 < x_2) = 1 - \frac{5}{12} = \frac{7}{12}$

$$P(k=2) = P(x_1 < x_2 \geq x_3) = \frac{35}{108}$$

$$P(k=4) = P(x_1 < x_2 < x_3 < x_4) = \frac{{}_6C_4}{6^4} = \frac{5}{432}$$

$$\begin{aligned} P(k=3) &= P(x_1 < x_2 < x_3) - P(x_1 < x_2 < x_3 < x_4) \\ &= \frac{5}{54} - \frac{5}{432} = \frac{35}{432} \end{aligned}$$

よって、求める期待値は

$$1 \times \frac{7}{12} + 2 \times \frac{35}{108} + 3 \times \frac{35}{432} + 4 \times \frac{5}{432} = \frac{73}{48}$$